
連続性

のみのみの

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

連続性

【コード】

N5866E

【作者名】

のみのみの

【あらすじ】

日々を繰り返す女の子の物語。彼女は抜け出す事が出来るだろうか。

目が覚めた。
自室にいる。

もう何度目の朝になるだろう。

「春香、もう学校に行く時間よ」

一階からお母さんが声をかけてきた。

私は慣れた手つきで制服に着替える。

もう鞄には今日の用意ができています。

その鞄を取って、一階に下りた。

「おはよう、お母さん」

「おはよう。もう八時二十分よ。急いだ方が良いんじゃない？」

お母さんの言葉も、何回聞いた事だろう。

「うん、分かってる」

テーブルの上に乗っているバターの塗られた食パンを手取る。

「それじゃ、行ってきます。いつも、ありがとう」

言い慣れた言葉を言う。

お母さんの顔を見ると、少し驚いたようだった。

無理も無いだろう。初めて聞いたのだから。

食パンを口に挟み、靴を足に引掛ける。

扉を開けて、もう一度お母さんに挨拶。

「行ってきます」

玄関側にある自転車の前籠に鞄を放り込む。

扉が閉まる音を聞きながら、自転車に跨る。

漕ぎ出して、雲が速く流れているのを見る。

いつも通りの日常が、何度も何度も過ぎる。

毎日、こうやって学校に通う日々が続く。

いつまで続くのか、なぜ続くのか。

それは判らない。

ただ。

無限ループは、一度入ったら抜けられないのだろう。

私は、この日から抜ける事ができない。

この七月一日から抜ける事ができない。

私は、歳を取ることもせず、ひたすら続く日常の中にいる。

死ねない。

死にたい。

昨日、まあ今日の事だが、と同じ動き、だが微妙に違う動きをする人。

慣れは怖い。

同じ作業を続けると、それしかできなくなるのだろうか。

私も昨日、まあ今日の事だが、と同じ動き、だが微妙に違う動きをする。

何も見ていない。

ただそこにあるだけだ。

人の声が音楽を奏でている。

日めくりはやはり一日だった。

後少し、後少しで、ループを抜ける。

ただの予感だった。

目が覚めた。

自室にいる。

もう何度目の朝になるだろう。

「春香、面白い番組をやってる」

一階からお母さんが声をかけてきた。

私は慣れた手つきで制服に着替える。

もう鞆には今日の用意ができています。

その鞆を取って、一階に下りた。

「おはよう、お母さん」

「おはよう。今日は学校が無いのよ。着替えなくてもいいのに」
お母さんの言葉も、何回聞いた事だろう。

・・・?

「うん、分かってる」

テーブルの上に乗っているバターの塗られた食パンを手に取る。

「それじゃ、行ってきます。いつも、ありがとう」

言い慣れた言葉を言う。

お母さんの顔を見ると、少し驚いたようだった。

無理も無いだろう。初めて聞いたのだから。

・・・?

食パンを口に挟み、靴を足に引っ掛ける。

扉を開けて、もう一度お母さんに挨拶。

「行ってきます」

玄関側にある自転車の前籠に鞆を放り込む。

扉が閉まる音を聞きながら、自転車に跨る。

漕ぎ出して、雲が全く無い晴天なのを見る。

・・・?

いつも通りの日常が、何度も何度も過ぎる。

毎日、こうやって学校に通う日々が続く。

いつまで続くのか、なぜ続くのか。

それは判らない。

ただ。

無限ループは、一度入ったら抜けられないのだろう。

私は、この日から抜ける事ができない。

この七月一日から抜ける事ができない。

私は、歳を取ることとせす、ひたすら続く日常の中にいる。

死ねない。

死にたい。

昨日、まあ今日の事だが、と同じ動き、だが微妙に違う動きをする

人。

・・・？

慣れは怖い。

同じ作業を続けると、それしかできなくなるのだろうか。

私も昨日、まあ今日の事だが、と同じ動き、だが微妙に違う動きをする。

何も見ていない。

ただそこにあるだけだ。

人の声が音楽を奏でている。

日めくりはやはり一日だった。

もう、すでに、ループを抜けたのに。

それに気付かない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5866e/>

連続性

2011年1月20日01時08分発行